

事業報告書（令和7年度）

事業名 夏休み！まんなかこどもの居場所
団体名 特定非営利活動法人まんなか 担当者名 岡田直子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、講師、参加対象者、人数、内容等）

誰もが集える地域の縁側（全5回）

【日程】7月9日、16日、30日、8月6日 20日

【時間】9：30～12：00/14：00～17：00

【場所】旧岡山市旭竜幼稚園

- ・子どもたちの自由な遊び場
- ・廃材などを利用し工作コーナーの設置
- ・外では水遊びができるプールを設置
- ・ソファ、椅子などを置き、地域の人が子どもを見守りながら、ちょっと話せるスペースづくり。
- ・カフェスペースの設置
- ・本のブツブツ交換会
- ・勉強スペースの設置

7月9日 広場参加者：大人6人、子ども23人 参加者合計：29人



7月16日 広場参加者：大人9人、子ども33人

「アイシングクッキー 体験&モニターレッスン」 講師：中島加奈

講座参加者：大人6人、子ども8人

参加者合計：56人

見守り託児を行い、お母さんたちは講座に集中して参加することができた。少しの時間子どもと離れることでも、親の生き抜きになり、参加者同士の話も弾み、「また参加したい！」との声があった。



30日 広場参加者：大人6人、子ども21人
子ども食堂 講座参加者：大人14人、子ども22人
参加者合計：63名

この日の子ども食堂のメニューは、鶏と豆腐そぼろの二色丼と味噌汁。
急速、園の畑でとれたピーマンを使ったりと、メニューも工夫しながら調理
した。子どもたちのお手伝いもあり、苦手な野菜も自分たちで調理したからか
たくさん食べていた。



8月6日 広場参加者：大人4人、子ども14人
「好き嫌いのない子をはぐくむ 声かけとコツ」 講師：村松沙樹
講座参加者：大人7人、子ども10人
参加者合計：35人



20日 広場参加者：大人2人、子ども14人
子ども食堂 講師：シェフ☆きっず岡山 光岡明里
講座参加者：大人13人、子ども17人

「自分を大切にする性教育」 講師：大岡尚美

講座参加者：大人9人、子ども15人

参加者合計：70人

子ども食堂はうどんとおにぎり。うどんは具材たっぷり。おにぎりは小さいものをたくさん作り、子どもたちのおなかに合わせ、調整しやすいようにした。地域の方の参加や中学生などの参加もあり、ご飯後は楽しそうに遊ぶ姿が見られた。



午後の性の講座は、パーツ、バウンダリー（境界と同意）のお話、情報社会で性犯罪に巻き込まれないよう気をつけなければならないこと、自分自身の身体と気持ちを大事にすることが大切な人のことも大事にすることになること。そして子が困った時、悩んだ時、心配になった時、怖かった時。すぐに話せる、頼れる大人がいるんだという安心感が大切だとわかった。



2. ESDの視点

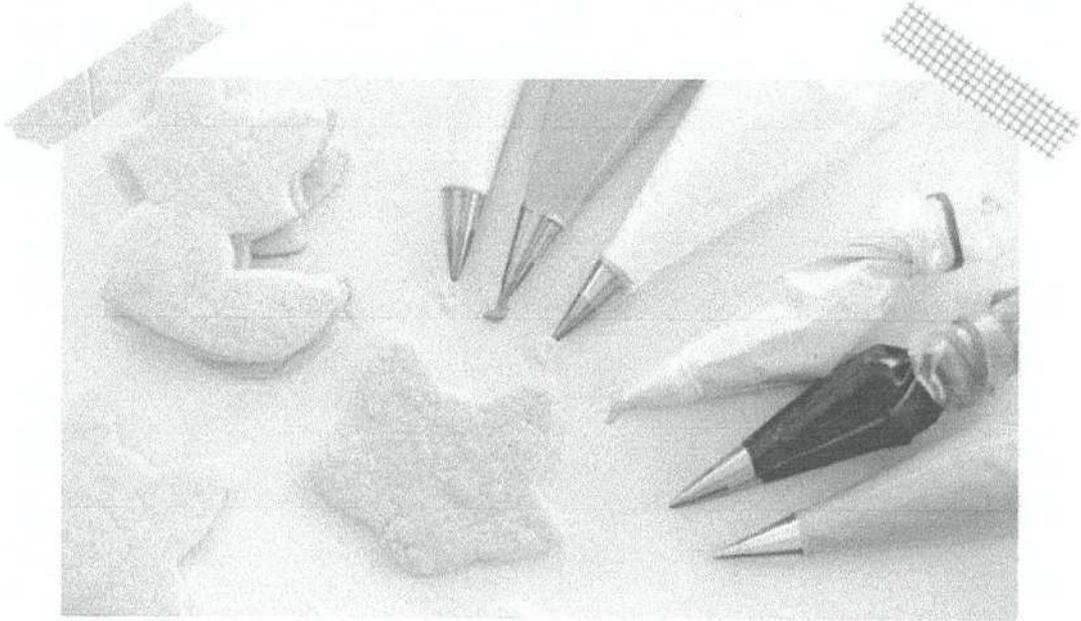
① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

事業を通じて、参加者は世代の異なる人々と触れ合うことで、若い世代は高齢者からの経験や知恵を学び、高齢者は若い世代の柔軟な発想や活力に触れることで、互いの価値観や生活様式を理解し合う機会となった。子どもたちは自分より小さい子供たちと関わり、自由な行動に振り回されながらも、生命の尊さや思いやりを育み、小さい子供はお姉さんたちの行動を真似して、お互いに成長の機会になった。

交流を通じて、人とのつながりという安心感や居場所感を得られることから、孤立感の軽減や自己肯定感の向上にも寄与した。地域における共助の意識、多世代が共に支え合いながら暮らす基盤づくりにつながった。

<p>② どのように学び合いを取り入れたか</p> <p>地域の人、子育て支援者と協力し、講座や居場所を作っていく活動の中で、大人だけでなく、子どもも主体で、一緒に成長出来る居場所を作る事で、主体的に考え、実践していくことができた。多世代で情報を共有し、身近な地域の問題を学び合う事が出来た。</p>
<p>③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか</p> <p>町内会や地域の親と連携し、子どもの現状や地域の困りごとを聞き、講座の開催につなげた。広場に参加する乳幼児の親の育児への前向きな気持ちを引き出すために、聞く力をつけ、ちょっとした困りごとを話しやすく、親自身の気づきに繋げる。また、専門家の支援が必要な方は必要な支援へつなぐ。</p>
<p>3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）</p>
<p>・参加人数の把握 平均 51 名の参加があった。</p> <p>・子どもたちに簡単なアンケート 子どもたちに口頭でアンケートを取った。子ども食堂は「おいしかったよ!!」、「嫌いな野菜も食べたよ!!」「沢山食べれたよ!!」「みんなと食べて楽しかった!」と元気な返事が聞こえてきた。</p> <p>・他講座アンケート 全ての講座において『非常に満足』との回答だった。</p>
<p>4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）</p> <p>取り組みを初めて5年ほどになるが、夏の暑さや遊びに行く危険性などが増し、子どもたちだけで遊びに行ける場所がどんどん減っている。徒歩圏内である小学校区に一つは、子どもたちがのびのびと自由に過ごせる施設が必要と感じている。</p> <p>岡山市の休眠資源活用が動き出してはいるが、調整地域外での施設貸出とのことで、旧旭竜幼稚園は当てはまらない。多世代で交流できる子どもの居場所の事例として、今後も市と協働事業ができないか模索していく。</p>

卵・乳製品・小麦粉不使用
アイシングクッキー
 体験&モニターレッスン



※写真はイメージです

卵・乳製品・小麦粉を使わず、体にやさしい素材で作るアイシングクッキー。アレルギーがあってもなくても、お子さまと一緒に安心して楽しめます♪
 \はじめてさんも大歓迎♡/

私自身もまだまだアイシング講師として学び中。
 一緒に「かわいい!」を楽しむ時間を過ごしませんか?
 作ったアイシングクッキーはお持ち帰りいただけます♪



【講師】
 ~安心安全に美味しく食べる~
 つむぐ代表 中島 加奈

7.16 (水) 10:00~11:00ごろ



場所 旧旭竜幼稚園
 岡山市中区中島50-1

申込方法 まんなか 公式LINE

参加費用 **1,500** 円

申込〆切 **7/9** (水)

持ちもの エプロン (必要な方)

募集人数 **10** 組 (先着順)



まんなか公式LINE



KOMEKO.KANA

講師Instagram

【主催】NPO法人 まんなか

【助成】ESDプロジェクト参加事業

子どもたちも地域の人も
みんなでごはんを食べよう!

旭竜
まんなか

食堂

2025年
7月30日(水)

鶏と豆腐そぼろの二色丼
と味噌汁



*写真はイメージです

調理ボランティア・食材の寄付募集

お米やお野菜、お味噌、めんつゆなど。メールなどでご連絡ください。

【主催】NPO法人まんなか mannaka.marumaru@gmail.com
【助成】ESDプロジェクト参加事業

おがやまコープ 井のこコミュニティ

時間

11:30~13:00

※広場は9:30~16:30

場所

旧旭竜幼稚園

岡山市中区中島50-1

時間

定員30名 ※要予約



←予約は
こちらから

小学生以下

100円

中学生以上
500円

2025年
8月20日(水)

うどんとおにぎり



*写真はイメージです

子どもが食べない理由を知ろう！

好き嫌いのない子をはぐくむ 声掛けとコツ

「好き嫌いはそのうち治る」…本当にそうでしょうか？
実は、自然に食べられるようになる確率は30～50%ほどとも言われています。

でも大丈夫。
食べない・ムラがある・座ってくれない——
そんな日々の食卓の悩みには、必ず理由と解決のヒントがあります。

この講座では、

- ✓ 好き嫌いが生まれる背景
- ✓ 子どもが食べたくなる声かけ
- ✓ 食べる力を育む関わり方

など、家庭ですぐに実践できる「食の土台づくり」をお伝えします。
いっしょに、子どもの「食べたい気持ち」を育てていきませんか？

2025

日時

8 / 6 水 10:30
~12:00

定員

10 組

費用

500 税込
円

※夏に食べたい

『塩麹アイス』の試食付き

場所

旧旭竜幼稚園 遊戯室
岡山市中区中島50-1

講師



偏食改善アドバイザー®

村松 さき

保育士歴12年。

娘の偏食がきっかけで、子どもの食、
発達について学び直す。

現在は偏食改善アドバイザー®

としてカウンセリングや講座、
子どもと食べたい発酵講座などを開催
している。

【主催】 NPO法人まんなか
【助成】 ESDプロジェクト参加事業

お申し込みは
まんなか公式
LINEから



まんなか公式LINE



©HANA_KOME_GU

講師Instagram